

航空ネットワーク検討会議（第2回） 議事概要

1 日時

平成29年8月3日（木）15時30分～17時30分

2 場所

KKRホテル札幌 3階 鳳凰

3 出席者

出席者名簿のとおり

4 議事概要

「航空ネットワークに関するビジョン（仮称）」の骨子作成に向けた意見交換

【主な意見】

- 海外では規制緩和により需要が伸びている一面もある。
- PSFC（旅客サービス施設使用料）の用途の拡大など、空港の発展や空港以外にも寄与する新たな財源を検討してはどうか。
- 海外のエアラインによる国内線の運航についても検討が必要ではないか。
- 航空料金の低価格化は、航空需要の押し上げに有効。
- 「新たな外国人層」「新たなシニア層」「新たな女性層」の取り込みは、観光オフシーズンの底上げにつながる。
- 新千歳空港の更なる拡大・発展は、他の空港にも大きな効果がある。
- 長期間の1回の旅行より、短い旅行に複数回来てもらった方が、航空需要をつくる効果は高い。
- フルサービスキャリアとLCCが、共に持続的に発展できるような制度設計が必要。
- エアラインとの交渉にあたっては、複数空港が連携し、対等な立場で信頼関係を築くことが必要。
- ユニバーサルデザインなど、利用者が使いやすい施設・運用の基準が必要。
- 航空貨物輸送は、大型機材でなければコンテナでの搭載ができないため、新千歳空港中心の取扱いとならざるを得ない。機材の大型化なくして、貨物のハブ・アンド・スポークは成り立たない。
- 食の輸出の増加が見込まれる中、新千歳空港の施設は脆弱であり、もう少し拡充する必要がある。
- 冬季のイレギュラー発生時における航空会社の管理能力やお客様への情報提供能力などについて審査し、対応能力が低い場合は、就航許可を取り消すことも検討。
- 雪害等による大量欠航時には、全体の情報を取りまとめる機能が必要。